

# 奈良県感染症情報

平成 26 年 第 52 週( 12 月 22 日～ 12 月 28 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

## ！！インフルエンザ警報発令中！！

奈良県内全域でのインフルエンザの定点当たり報告数が警報基準値「30」を越えました。終息基準値「10」を下回るまで、警報発令状態は続きます。まだ流行は継続すると思われるので、感染拡大の防止のために①手洗い・うがいの励行、②咳エチケット（マスク）を心がけてください。

### ◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	インフルエンザ	31.69	(23.85)	↑↑↑	↑↑	↑↑	↑↑
2	感染性胃腸炎	6.03	(6.85)	→	→	→	↗
3	RS ウイルス感染症	2.74	(3.74)	↗	→	↗	↑↑
4	A 群溶連菌咽頭炎	1.18	(1.24)	→	→	↓	↓
5	水痘	0.79	(1.06)	→	→	→	↓

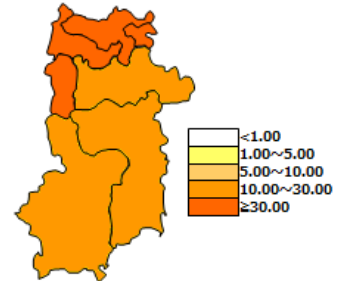
発生状況： **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減：過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

### ◆ 県内概況 ◆

インフルエンザが警報開始基準値を越えました。特に郡山保健所管内では先週と比べ大幅に報告数が増えました。近畿では大阪府、兵庫県、奈良県が警報開始基準値を越えています。幅広い年齢層から報告があり、特に7歳から14歳の小中学生で多く見られます。

患者が増えていることで、これからますます流行が拡大することが予想されます。人の多く集まる場所へ出かける場合はマスクの着用などで感染を予防し、帰宅した際にはうがい・手洗いを励行して周囲の人にも移さないように心掛けましょう。



インフルエンザ  
保健所別定点当たり報告数

### ❖ 小児科外来情報 ❖

#### 北部地区(矢追医院)

インフルエンザが大流行しています。全てA型です。今年は11月後半より流行し始めたので最初は全て予防接種未接種者でしたが最近では既接種者それも10歳代以降の方が感染しています。毎年の事ですが、やはりインフルエンザの予防接種は感染を阻止するワクチンではないように思えます。乳幼児ではRSウイルス感染症が流行しています。感染性胃腸炎も流行していますが増える気配はありません。症状も例年同様かさらに軽症化しているようで1日程度の嘔吐と下痢がほとんどですが、嘔吐の無い例も迅速検査で陽性例がみられます。

#### 中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数は増加。インフルエンザが増加。但し当クリニックではインフルエンザ一色という程ではない。すべてA型。比較的軽症で、感染力もそう強くないのか家族中に蔓延せずすむ例も多い。感染性胃腸炎がありノロが多い。ワクチンの効果が今冬ロタは見られない。他に水痘が小流行中。

#### 南部地区(県立五條病院小児科)

インフルエンザ急増。すべてA型でタミフル耐性と思われる例はない。またRSや胃腸炎も多くみられている。インフルエンザの重症例はないが、発熱初期の熱性痙攣が多く脳症との鑑別を要する。

次回の週報は、第1・2週合併号として、1月16日(金)に発行致します。



❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

— H26 ▲ H25 □ H24 — 過去10年平均

